



基本の「キ」!

## ① 基本的な感染症対策

### 1 人との距離を確保しよう

JA女性組織活動や外出先での着席・行列等では、意識的に人との間隔を取りましょう。間隔の目安は、最低1メートル、可能であれば2メートルとされています。活動をする際は、間隔を確保できるゆとりある会場を選ぶようにしましょう。



### 2 マスクを着用しよう

JA女性組織活動や買い物等で外出するときは、必ずマスクを着用するようにしましょう。



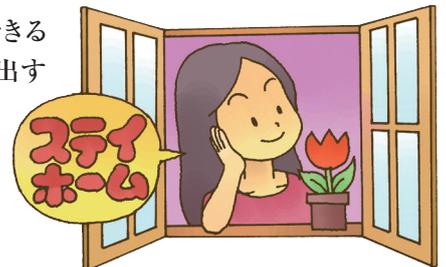
### 3 手洗い・洗顔を励行しよう

帰宅したときや、不特定多数の触れる部分に触った後は、必ず手や顔を洗うようにしましょう。



### 4 不要不急の活動をなくそう

外出する際は、できる限り予約を取って外出するようにしましょう。



### 5 体調管理を徹底しよう

毎日の検温をはじめ、自らの体調確認を心がけ、体調不良の場合は、無理をせず、外出しないようにしましょう。



## Attention! ② JA女性組織活動の際に注意すべきこと

### 1 換気と消毒を徹底しよう

活動中は窓を開ける等して換気に努めるとともに、活動の開始前・終了後には、消毒液により机や椅子の消毒を徹底しましょう。



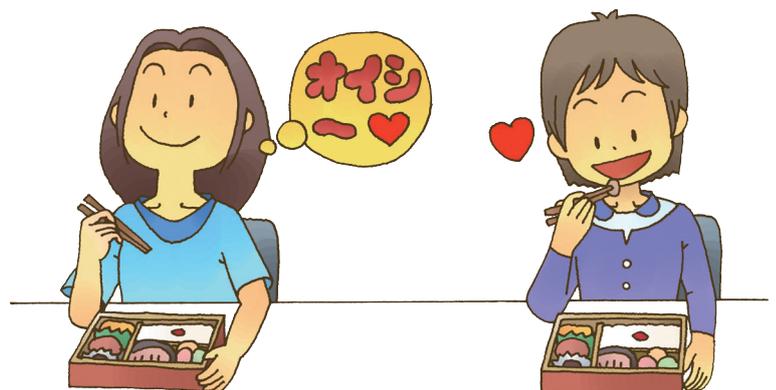
### 2 会議の時間は短くしよう

予め何について議論するのかを決めておくことで、長時間の会議をなくし、短い時間で決定できるようにしましょう。



### 3 食事は美味しく、でも静かにしよう

会議で食事をする場合は、飛沫感染防止の観点から避けるべきですが、どうしても食事が必要な際は、交互や同じ方向を向くように座るなど工夫をし、静かに味わいましょう。



## 1 Web(インターネット)を活用しよう

スマートフォンやタブレット、パソコンなどを活用し、Web会議にチャレンジして、外出しなくてもメンバーが交流できるように工夫しましょう。

また、Webで興味のあることを調べ、JA女性組織活動に活かしましょう!



JA全国女性組織協議会では、コロナ禍においても活動を止めないために、令和2年4月よりWeb会議に挑戦しています。執行部には、全国各地の代表が集まっているため、感染拡大の状況下では実際に集まることが困難でした。そこで、インターネットを活用して、Web会議に挑戦することにしました。

まずは、スマートフォンやタブレット等にアプリケーションをインストール。最初はアクセスに手間取ることもありましたが、今ではいつも通りの理事会を開くことができます。始める前は「本当にできるのかな。」と半信半疑でしたが、意外と簡単に会議をすることができました。

みなさんも、ぜひWeb会議に挑戦してみてください。



※Web会議システムには、WebexやZOOM等が広く活用されています。



家の光協会の特設サイト「家活でコロナに負けるな!」では、自宅のできる活動のヒントが満載です!



## 2 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を活用しよう

LINEやFacebook、Twitterなど、インターネット上で仲間たちだけで交流できる仕組みを活用し、たとえ会えなくても仲間とつながるようにしましょう。LINEで仲間のグループを作れば、意見交換をすることも可能です。

さらに、“#(ハッシュタグ)”を使えば、同じハッシュタグがつけられた投稿を容易に閲覧することが可能です!



“#(ハッシュタグ)”とは、「検索用キーワード」のこと。“#〇〇”で検索して、興味のあることを調べてみましょう!(例) #女性部など

## 3 Webで思いを共有しよう

Web会議システムや、SNSは大変便利で情報がすぐに伝わります。使い方がわからなければ、詳しいJA女性組織メンバーやJA職員に問い合わせ、積極的にチャレンジしましょう。

例えば、毎月届く『家の光』を読んだ感想をSNSに投稿して、意見交換することから始めてみましょう!自宅で一人で読んでいるだけでは気づかない、新しい見方や考え方などの発見があるかもしれません。



『家の光』2020年11月号で、Webを使ったミーティングの方法をわかりやすく紹介! 関連動画をYouTubeの「家の光チャンネル」で配信します。

# できることから! ④ 全国で動く「新たなJA女性組織活動」をご紹介します!

## 1 家中活動に挑戦!

滋賀県・JAしが女性協議会では、JAの支店などに集まっての活動ができないなか、各家庭で取り組める、3つのテーマ(①健康づくりエッセイ②免疫力アップ料理レシピ③ハンドメイド)で、コンテストを実施しています。受賞作品は作品集を作成し、広く広報していくことを予定しています。

また、女性部活動の魅力が次代に繋げていくために、支部単位で「言伝(ことづて)活動」と称した活動を開始しました。『家の光』で紹介されたSDGsブレスレットの手芸キットに100円の募金を加えて購入し、新型コロナウイルス感染症対策への寄附にあてるなど、こんな時だからこそ、JA女性組織の結束力を高める取り組みに取り組んでいます!

取り組みの様子を、JA全国女性協のホームページで紹介しています。アクセスしてみましょう!



## 2 SNSで情報を発信!

JA長野県女性協議会では、創立70周年事業「SNSでつながろう」として食と農の活動に県内全女性組織で取り組むとともに昨年より日頃の活動の様子をInstagramやTwitterで情報発信しています。写真付きで取り組みを紹介できるので、他組織や当日参加できなかったメンバーにも情報をわかりやすく伝えることができます。これからは、こういった技術を取り入れながら活動を進めることが必要だと実感しています!



## 3 オンライン教室を開催!

愛知県JAあいち海部では、「おうちdeじょせい bu ONLINE教室」と題して、JAに集まることが難しくても、メンバーの暮らしに役立つ取り組みを進めています。

第1回目の活動は、接骨院の先生によるストレッチ教室でした。巣ごもり生活を余儀なくされる中、久しぶりにカラダを伸ばすことができ、メンバーには大変好評でした。新しい技術を活動に取り入れることは難しそうに思えますが、「やればできる。」みなさんも、ぜひ新しい時代にふさわしい活動を始めてみましょう!



JA女性組織や、フレッシュミズの活動を紹介します。今すぐ、スマートフォンで右のQRコードを撮影して、アクセスしてみましょう!



JA全国女性協  
facebook



フレッシュミズ  
facebook